

# 「公共建築の日」について

## 国土交通省大臣官房官庁営繕部営繕計画課特別整備企画室

今年から毎年11月11日を「公共建築の日」、毎年11月の1カ月間を「公共建築月間」と設定し、これらに関連した各種記念イベントを開催し、公共建築に対する国民の理解と関心を高めながらより良い公共建築の整備を目指していきます。



### 経緯および概要

公共建築の日の創設については、2001年5月に開かれた全国営繕主管課長会議（全都道府県および政令市の営繕担当課長および国土交通省官庁営繕部から構成される会議）で付託事項とされ、東京都、神奈川県、大阪府、国土交通省官庁営繕部による検討会が設置され、2003年4月の同会議幹事会で創設が了承されました。

現在のところ、(社)公共建築協会、(社)建築保全センター、(財)建築コスト管理システム研究所、(社)文教施設協会の4団体が「公共建築の日および公共建築月間 実行委員会」を組織し、各種記念イベントを主催していく予定となっています。

公共建築の日および公共建築月間の主旨は、次のとおりです。

行政、教育文化、福祉等様々な分野に係わる各種の公共建築は、地域の人々の生活に密接な係わりを持ち、地域の活性化、生活・文

化水準の向上、街並み・景観の形成等を図る上で重要な役割を果たしています。

また近年、地域との連携を図りながら、公共建築の整備や運営のあり方を考えるべきという気運がますます高まっています。

このため、公共建築に対する国民の意識が高まり、国民それぞれが公共建築を通じて、街づくり、地域づくりに直接、間接に参画し、真に優れた公共建築の整備・運営に一定の役割を担うことが期待されています。

このような状況を踏まえ、「公共建築の日」及び「公共建築月間」を創設し、関係団体、地方公共団体、関係省庁等が幅広く協力しつつ、また広く一般の方々にも関心をもってもらいながら、より一層、国民生活に密着したより良い公共建築をめざしていきます。

また、11月11日に設定されたのは、以下の理由からです。

- ・「1111」と1が四つ並ぶことから、建物の4本の柱をイメージし、建築の基本的な構造を象徴している。
- ・その他、国会議事堂の完成が昭和11年11月（7日）などにもちなんでいます。

イベントは、中央および各地方ブロックごと（北海道・東北・関東・北陸・中部・近畿・中国・九州）に開催されますが、今年度は、「公共建

築を考える」というテーマを全国共通のテーマとしています。

国および地方自治体は、実行委員会が方針や具体の企画を検討し、推進するに際して「協力支援会議」を組織し協力支援を行っています。

中央イベントについては、北海道・宮城県・東京都・神奈川県・新潟県・愛知県・大阪府・広島県・香川県・福岡県の各地方自治体および法務省・文部科学省・国土交通省から構成される協力支援会議が実行委員会を支援しており、各地方ブロックについては、各地方ブロックの実状に応じて、営繕主管課長会議参加者および国の出先機関が実行委員会を支援しています。

## 2 今年度の取り組み状況

創設第1回目となる今年は、公共建築の日を周知するための共通ポスターを作製し(図1参照)、中央イベントとして、以下の記念シンポジウムを開催します(図2参照)。

### 公共建築の日 記念シンポジウム

「生きる公共建築、生かす公共建築」

1.開催日時：平成15年11月11日(火)

13:30~17:00

2.会場：ホテル・ルポール麹町(麹町会館)2階 ロイヤルクリスタルの間

### 3.プログラム

#### ①基調講演：

「これからの公共建築」

鈴木 博之氏(東京大学大学院教授)

「私と公共建築」

安藤 忠雄氏(建築家・東京大学名誉教授)

#### ②パネルディスカッション

コーディネーター

鈴木 博之氏

パネリスト

安藤 忠雄氏

見城 美枝子氏(青森大学教授・エッセイスト)

白幡 洋三郎氏(国際日本文化研究センター教授)

福島 七郎氏(東京都財務局建築保全部長)

奥田 修一氏(国土交通省大臣官房審議官)

問合せ：(財)建築保全センター

(URL <http://www.bmmc.or.jp/>)



図1 公共建築の日 共通ポスター

また、その他イベント等の取り組み状況については、表1のとおりとなっています。

## 3 今後の展開

公共建築の日については、今後、各種催し物を毎年継続することで認知を高め、国・地方公共団体、各団体の幅広い参加を呼びかけるなど、活動を繰り広げていく予定です。

表 1 「公共建築の日」関連行事一覧

開催ブロック	月	日	備考1 (イベント期間等)	イベント内容	開催場所	主催者	情報入手先・問合せ先
中央	11	11		中央イベント(講演会・シンポジウム) 「生きる公共建築,生かす公共建築」 ・鈴木博之氏,安藤忠雄氏,白幡洋三郎氏,見城美枝子氏,福島七郎氏,奥田修一氏	ホテル・ルポール麹町 麹町会館 2階 ロイヤルクリスタルの間	実行委員会	申込みは終了しています。
中央	11	14		中央イベント(施設見学会) 東京藝術大学奏楽堂 (定員:100名 無料・申込み先着順) 14:00~16:00 学内演奏会鑑賞 16:00~17:00 奏楽堂施設案内	東京都台東区上野公園 12番8号	実行委員会	申込みは終了しています。
中央	11	16		中央イベント(施設見学会) 国際子ども図書館(定員:30名 小学4年~6年生の児童と保護者同伴) 10:30~12:00 国際子ども図書館館内及び館外見学	東京都台東区上野公園 12 49	実行委員会	申込みは終了しています。
北海道	11	10/30 ~ 11/5		フォトコンテスト(モバイルP1グランプリ) カメラ付き携帯電話による写真コンテスト テーマ:人,自然,生活,文化と公共建築	札幌駅地下街 「アピア」内ライラックホール	(社)公共建築協会	(社)公共建築協会 北海道地区事務局 011 709 5212
北海道	11	13		トークセッション(人・自然・生活・文化と公共建築) 進行役:林 美香子(フリーキャスター) パネリスト:遠藤清一氏(忠類村長),逢坂誠二氏(ニセコ町長),小林英嗣氏(北海道大学大学院教授),中島興世氏(恵庭市会議員)	ホテルポールスター 2階ポールスターホール 札幌市中央区北4条西6丁目道庁前	(社)公共建築協会	(社)公共建築協会 北海道地区事務局 011 709 5212
東北	11	11		「公共建築フォーラム2003」in とうほく ~「公共建築の日」&「公共建築月間」創設にあたって~ 第1部:講演会/阿部仁史氏(東北大学大学院教授) 第2部:営繕技術フォーラム ・作品プレゼンテーション ・ラウンドテーブルディスカッション 同時開催:パネル展	仙台メディアテーク1階 オープンスクエア(定員約200名)	東北ブロック 営繕主管課長会議	東北地方整備局 営繕部計画課 022 225 2171
東北	11	18		公共建築フォーラム 「~ともに考え,ともに作る養護学校~(仮称)」 パネルディスカッション	コラッセふくしま	福島県公共建築 連絡会議	
関東	11	4		横浜税関本関完成記念講演会 ~歴史的建築物の保存・活用のあり方~ 講師 坂本勝比古氏(神戸芸術工科大学名誉教授) 香山壽夫氏(香山壽夫建築研究所所長)	横浜開港記念館 横浜市中区本町1 6	関東地方整備局	関東地方整備局 営繕部建築第一課 048 600 1349
関東	11	4 ~ 9		絵画作品展「小学生から見たさいたま新都心の作品展2003」 (絵画・作品展示・絵画審査会・表彰式・パネル展示・パンフレット)	さいたま新都心合同庁舎1号館 インフォメーションセンター	関東地方整備局 営繕部	関東地方整備局 営繕部計画課 048 601 3151
関東	11	10 ~ 14		各種記念行事 講習会(公共団体の積算担当者対象) 11月10, 11, 13, 14日 講演会(定員50名) 岩松 準氏(佐藤工業(株)総合研究所主任研究員) 佐藤隆良氏((株)サトウファシリティーズコンサルタント)	(財)建築コスト管理システム研究所会議室 東京都港区西新橋3 19 14	建築コスト管理システム研究所	建築コスト管理システム研究所 03 3434 1530
関東	11	13		シンポジウム「親しまれる建築とは」 講演会・対談 山崎洋子氏(小説家) 吉田鋼市氏(横浜国立大学教授) 会場にてパネル展示予定	横浜市開港記念会館 講堂 横浜市中区本町1 6 定員:300名(無料:当日先着順)	神奈川県 官公庁営繕協議会 横浜営繕事務所	神奈川県建築工事課 調整班 045 210 1111(代表)
関東	11	21		東京都財務局技術発表会 技術発表 8作品(15:05まで) 特別講演 15:10~16:30 青木 茂氏(建築家)	東京都庁議会議棟1階 都民ホール	東京都	東京都財務局 技術発表会事務局 03 5321 1111
関東	11	26		シンポジウム 「今後の官公庁施設保全のありかたについて 長期使用への挑戦」たてものなが~くたいせつに~ 講演とパネルディスカッション コーディネーター 村上周三(慶応大学教授) パネリスト 鬼沢浩志氏(国土交通省大臣官房官庁営繕部保全指導室長) 古橋秀夫氏((社)全国ビルメンテナンス協会専門委員) 西村善治氏(東日本電信電話(株)不動産企画室長) 未管辰雄氏(東京都建築保全部計画保全課長)	東條インベリアルパレス 定員約150名(無料・申込み先着順)	建築保全センター	建築保全センター 03 3263 0080

開催 ブロック	月	日	備考1 (イベント 期間等)	イベント内容	開催場所	主催者	情報入手先・ 問合せ先
中部	11	10		講演会「公共建築は、みんなのもの」 内容 住民との協働による公共建築・事例発表(設計・建設・管理運営のプロセスにおける、住民との協働の実践事例) (焼津市総合福祉会館・月見の里学遊館・澤野医院記念館) 講演:「いつも何かにときめいていよう」(藤田弓子氏(女優))	静岡県男女共同参画センター 「あざれあ」 (静岡市馬淵1丁目) 定員:100名(無料・申込み先着順)	静岡県公共建築推進協議会 (県・20市・6町で構成)	静岡県公共建築推進協議会事務局 054 221 3092
中部	11	14		中部ブロックイベント(シンポジウム) ～安全・安心な公共建築を目指して～ 基調講演:久保哲夫氏(名工大教授) パネルディスカッション:福和伸夫氏(コーディネーター, 名大教授) 笠嶋淑恵氏(建築家), 植村 正氏(静岡県都市住宅部営繕総室営繕企画室長) 田島邦彦氏(三重県総務局営繕チームマネージャー) 椋平 健氏(中部地方整備局営繕部計画課長)	ウィルあいち(愛知県女性総合センター)	実行委員会 (中部ブロック)	公共建築協会中部地区事務局 052 243 0789
近畿	11	22		「堺の顔作りを考えるフォーラム」～これからのまちと公共建築 基調講演 増田 昇氏(大阪府立大学大学院教授) 市民からの提案, パネルディスカッション	堺市総合福祉会館 6Fホール	実行委員会 (近畿ブロック)	公共建築協会近畿地区事務局 06 6943 7571
近畿	11	26		公共建築とまちづくりフォーラム2003in 大阪 第一部 講演・光井 純氏(シーザー・ペリ アンドアソシエーツジャパン(株)代表) パネルディスカッション 大谷幸夫氏(建築家, 東京大学名誉教授) 永井芳和氏(読売新聞文化部長) 光井 純氏 清水豊和氏(近畿地方整備局営繕部長) コーディネーター 山崎泰孝氏(近畿大学教授, 建築家) 第二部 国立国際美術館ライトアップ点灯式	第一部:大阪YMCA会館2F YMCAホール(大阪市西区佐堀156) 第二部:国立国際美術館建設現場(大阪市北区中之島4214)		
中国	11	9		施設見学会(山口県:旧県会議事堂保存修理工事) 10:00～15:00 山口市滝町1-1	山口県庁内	実行委員会 (中国ブロック) 協力支援会議 (中国ブロック)	山口県建築指導課 営繕室
中国	11	15		施設見学会(鳥根県:松江合同庁舎) 10時, 13時, 15時の3回 所要時間約1時間, 各回50名 松江市向島町134	集合場所:庁舎1階ホール	実行委員会 (中国ブロック) 協力支援会議 (中国ブロック)	中国地方整備局 ・営繕部 ・山口営繕事務所
中国	11	23		施設見学会 鳥取県:鳥取県警察本部庁舎, 鳥取県庁舎(耐震改修) 13:30, 15:00の2回。各回50人程度	集合場所:鳥取県民文化会館ホール	実行委員会 (中国ブロック) 協力支援会議 (中国ブロック)	鳥取県総務部 管財課営繕室
四国	11	10～13	4日間	パネル展示	JR 高松駅コンコース	公共建築協会 四国地区事務局	公共建築協会 四国地区事務局
九州	10	29		都城シビックフォーラム(公共建築月間イベント) 「みんなで語るまちづくり・都城」 基調講演 南條道昌氏(都市計画設計研究所代表取締役) パネルディスカッション 大久保浩文氏(大久保計画アトリ工代表取締役) 漆島和子氏(都城まちづくり会社) 加治屋孝一氏(西駅地区整備推進協議会会長) 野村 修氏(九州地方整備局 営繕部長) 樋口栄作氏(都城工業高等専門学校教授) 三角光洋氏(都城市土木部長) 村岡義明氏(千日通り商店街振興組合副理事長)	メインホテル 5階メインホール (都城市上町8-9)	九州地方整備局 ・都城市	都城市まちづくり 政策課 0986 23 2762
九州	11	11		九州営繕フォーラム2003	第5博多偕成ビル 10階会議室	九州地方整備局	九州地方整備局 営繕部建築課 092 471 6331
九州 (沖縄)	11	11～14		沖縄総合事務局, 沖縄県, 那覇市による施策・公共建築関連事業等を紹介する合同パネル展示	沖縄県庁舎 1階県民ホール	実行委員会	公共建築協会沖縄地区事務局 098 879 2097

# 『官庁施設における木材活用事例集』について

国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課

課長補佐 さとう ゆみ  
佐藤 由美

官庁施設については、防災、防犯等の観点から安全性、耐久性等を確保することが必要であり、鉄筋コンクリート造等を主体とする構造により整備を行っています。

こうした中で、木材の利用が望まれる施設等においては、必要な性能を確保しつつ、積極的に木材の利活用を図っています。このため、国土交通省官庁営繕部においては、施設整備にあたっての木材活用の方法の参考資料として「官庁施設における木材活用事例集」を作成しています。平成9年に最初の事例集を作成しており、本年度作成したのものについては、近年の事例を対象に、木造施設4件、内装等に木材を使用した施設23件を掲載しています。

木材は、温かみを持つ自然素材であるなどの特徴を有しており、このような特徴を適切に活用することによって、より豊かな空間づくりが可能となると考えられます。その一方で、官庁施設には、安全性、耐久性等の性能が求められるところです。ですから、木材の使用にあたっては、適切な個所に、適切な材種のもを、適切な仕上げをして用いることが必要だと考えられます。そのため、事例集には、木材を使用した施設の概要、主な木材使用個所の写真、木材の使用個所・材種・仕上げ等の一覧を掲載しています。



## 木造施設の事例

木造施設の事例としては、オリンピック記念青少年総合センターの日本家屋のように、茶道、華道等の研修施設として使用されるという用途などにより木造施設とした事例、国立中央青年の家のゲストハウスのように、周辺の自然環境との調和などのため木造とした事例等を掲載しています。



写真 1 国立中央青年の家 ゲストハウス  
所在地：静岡県御殿場市  
発注者：中部地方整備局営繕部  
構造体に杉丸太を用い、温かみのある落ち着いたログハウスとしています。



写真 2 国立阿蘇青年の家 屋外炊飯場  
所在地：熊本県阿蘇郡一宮町  
発注者：九州地方整備局営繕部  
緑豊かな自然に調和するような木造の炊飯場としています。



## 内装等に木材を使用した施設の事例

国立少年自然の家や青年の家のような宿泊・研修施設，図書館のような文化的施設のほか，各種の庁舎等において，ホールや食堂，玄関ホール等暖かみや落ち着きのある空間が求められる場所で，それぞれ工夫をこらした木材の活用を図っています。また，外構に設けられたポケットパークなどにウッドデッキを使用している事例もあります。



写真 3 旭川公共職業安定所富良野出張所（階段室）  
所在地：北海道富良野市  
発注者：北海道開発局  
利用者が直接手を触れる手すりに木材（ナラ集成材）を活用し，暖かみのある空間としています。



写真 4 中央合同庁舎第2号館（大会議室）  
所在地：東京都千代田区  
発注者：国土交通省大臣官房官庁営繕部  
壁面，建具，家具を木製とすることにより，落ち着いた空間を確保しています。



写真 5 中央合同庁舎第2号館（食堂）  
食堂の床に木材を使用しているほか，中庭にジャラ材のウッドデッキを設置しています。



写真 6 中央合同庁舎第2号館（外構）  
石張りの外構の一部に耐摩耗性等に優れたジャラ材のウッドデッキを敷設し，敷地内に設けられたポケットパークに暖か

みを持たせています。また、ウッドデッキとの一体性を持たせるため、ベンチや階段部にも木材を活用しています。



写真 7 柏原公共職業安定所（外観）

所在地：兵庫県水上郡柏原町  
発注者：近畿地方整備局営繕部  
外部の軒天やスロープ壁面等に杉を活用し、林業の里丹波のランドマークとして明るい印象を与えています。庁舎の屋外に木材を採用するにあたっては使用部位と仕上げ方法を慎重に計画しています。



写真 8 柏原公共職業安定所（スロープ手すり壁）

雨がかりとなるスロープの壁は小径の杉材を割り、表皮を水剥きし、不ぞろいで節くれたまま使っており、劣化による割れや色落ち・灰色化がなじむように荒削りな印象に仕上げています。



写真 9 柏原公共職業安定所（3階廊下手すり）  
2階事務室の吹抜部分に面する3階廊下にも、手すりに杉材を活用し、2階からの視線を遮りつつ、圧迫感を与えないスクリーンとしています。



写真 10 柏原公共職業安定所（2階事務室）  
ファンコイルカバーにも杉材を用いることで、ベンチと兼用し、待合いの席数を十分に確保できるつくりとしています。ファンコイルカバーの作成にあたっては、造作家具となるとコストが高いため床用の縁甲板を利用しています。こうした工夫は木材の性質と加工法を熟知する地元の木材業者との打ち合わせによって活路を見出したものです。